

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場会社名 明治海運株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9115 URL http://www.meiji-shipping.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 内田 和也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 水野 敏郎 (TEL) 03-3792-0811
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	23,080	12.4	2,505	22.2	3,571	△31.2	1,982	△8.2
26年3月期第3四半期	20,541	23.6	2,051	211.8	5,192	—	2,159	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 4,642百万円(△33.1%) 26年3月期第3四半期 6,943百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	59.91	—
26年3月期第3四半期	65.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	141,253	27,680	8.0
26年3月期	137,047	23,047	6.7

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 11,246百万円 26年3月期 9,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	7.00	7.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

26年3月期期末配当金の内訳 普通配当5円00銭 特別配当2円00銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	13.7	2,500	△1.0	5,200	△24.1	2,200	55.5	66.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	36,000,000株	26年3月期	36,000,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	2,901,188株	26年3月期	2,909,997株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	33,094,913株	26年3月期3Q	33,069,283株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の独り勝ちであり、欧州の経済成長率が低く、新興国の成長率が伸び悩んだ結果、全体的には穏やかな成長となりました。また、シェール・ガスの増産体制が整ったことにより、下期に急激な原油価格低下が起こり、世界最大の産油国であるロシア経済は大打撃を受け、世界経済の新たな不安材料となりつつあります。

一方、我が国経済は、日銀の追加緩和、消費税率引き上げの先延ばし、原油安、円安等により持ち直しつつありますが、生産拠点の海外移転の進展により、思ったほど輸出が伸びておらず、実質成長率は穏やかなものとなっています。

このような状況のもと、当社グループの外航海運業部門は、前連結会計年度に売却した船舶の稼働減の影響はあったものの、為替の円安による影響もあり、売上高は15,043百万円（前年同四半期比0.5%増）、外航海運業利益は1,252百万円（前年同四半期比4.7%減）を計上しました。なお、船隊近代化の一環として、当第3四半期連結累計期間に連結子会社において新造バルカー1隻を投入した一方で、タンカー1隻、チップ船1隻の計2隻を売船し、その売却益1,279百万円を特別利益に計上しました。

ホテル関連事業部門では、平成26年6月30日にザ・ウィンザーホテル洞爺リゾート&スパが新たに当社グループに加わり、5ホテル体制となりました。ラグナガーデンホテルは当期に入り沖縄の市況が好転したことから、各部門収入が拡大しました。また、前連結会計年度に取得したシーサイドホテル舞子ビラ神戸が当期は期初から通年稼働していること、さらに、前述のザ・ウィンザーホテル洞爺リゾート&スパが加わったことにより、売上高は7,682百万円（前年同四半期比47.9%増）となり、ホテル関連事業利益は1,047百万円（前年同四半期比93.3%増）となりました。

不動産賃貸業部門は、当社グループ所有のビルで空室率が若干増加傾向にあり、売上高は354百万円（前年同四半期比5.0%減）、不動産賃貸業利益は205百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、23,080百万円（前年同四半期比12.4%増）、営業利益は2,505百万円（前年同四半期比22.2%増）となりました。営業外損益については為替差益1,358百万円を計上し、経常利益は3,571百万円（前年同四半期比31.2%減）、四半期純利益は1,982百万円（前年同四半期比8.2%減）になりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度末より4,206百万円増加し、141,253百万円となりました。負債の部は、前連結会計年度末より426百万円減少し、113,572百万円となりました。また、純資産の部は、前連結会計年度末より4,633百万円増加し、27,680百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月31日の「平成27年3月期 第2四半期決算短信」において公表した平成27年3月期の通期連結業績予想について、最近の業績の動向を踏まえて修正をしました。

詳細につきましては、本日平成27年1月30日公表の「通期連結業績予想の修正、営業外収益(為替差益)および特別損失(減損損失)の計上見込み、並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,683,464	10,464,945
売掛金	491,948	794,426
有価証券	5,709	5,712
商品及び製品	7,750	24,943
原材料及び貯蔵品	562,502	580,056
繰延税金資産	95,133	89,461
その他	2,272,202	2,786,419
流動資産合計	13,118,710	14,745,963
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	93,356,222	91,079,207
建物及び構築物(純額)	12,814,712	14,035,851
土地	8,091,847	8,360,318
建設仮勘定	1,834,951	3,384,532
その他(純額)	362,357	367,361
有形固定資産合計	116,460,091	117,227,270
無形固定資産		
その他	86,536	77,983
無形固定資産合計	86,536	77,983
投資その他の資産		
投資有価証券	6,699,159	8,346,709
長期貸付金	32,311	33,535
繰延税金資産	152,382	125,212
その他	497,953	696,732
投資その他の資産合計	7,381,805	9,202,188
固定資産合計	123,928,433	126,507,442
資産合計	137,047,143	141,253,406

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	862,738	762,589
1年内償還予定の社債	1,320,000	1,411,000
短期借入金	24,564,680	19,350,886
未払金	1,140,488	1,071,690
未払法人税等	313,919	423,265
賞与引当金	21,491	38,255
その他	2,921,033	2,445,347
流動負債合計	31,144,352	25,503,035
固定負債		
社債	4,274,500	4,319,000
長期借入金	70,666,143	75,641,072
繰延税金負債	2,826,072	3,212,734
再評価に係る繰延税金負債	452,637	452,637
引当金		
役員退職慰労引当金	298,567	298,096
特別修繕引当金	968,392	954,506
引当金計	1,266,960	1,252,602
退職給付に係る負債	232,723	245,779
持分法適用に伴う負債	641,994	649,175
負ののれん	7,730	-
その他	2,486,393	2,296,670
固定負債合計	82,855,155	88,069,672
負債合計	113,999,508	113,572,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,800,000	1,800,000
資本剰余金	20,940	21,124
利益剰余金	6,353,803	8,084,745
自己株式	△540,883	△537,919
株主資本合計	7,633,859	9,367,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	419,790	515,880
繰延ヘッジ損益	△134,124	△152,412
土地再評価差額金	391,989	391,989
為替換算調整勘定	875,021	1,123,266
その他の包括利益累計額合計	1,552,677	1,878,723
少数株主持分	13,861,098	16,434,025
純資産合計	23,047,635	27,680,699
負債純資産合計	137,047,143	141,253,406

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	20,541,647	23,080,475
売上原価	16,615,209	18,313,213
売上総利益	3,926,437	4,767,261
販売費及び一般管理費	1,874,975	2,261,384
営業利益	2,051,461	2,505,877
営業外収益		
受取利息	15,133	15,759
受取配当金	45,760	50,784
為替差益	3,376,114	1,358,607
持分法による投資利益	1,214,657	815,196
その他	162,885	254,651
営業外収益合計	4,814,551	2,494,998
営業外費用		
支払利息	1,333,988	1,238,734
その他	339,494	191,029
営業外費用合計	1,673,482	1,429,764
経常利益	5,192,530	3,571,111
特別利益		
船舶売却益	-	1,279,623
負ののれん発生益	248,812	30,411
特別利益合計	248,812	1,310,034
特別損失		
減損損失	158,136	-
段階取得に係る差損	76,077	-
特別損失合計	234,214	-
税金等調整前四半期純利益	5,207,129	4,881,146
法人税、住民税及び事業税	273,036	535,005
法人税等調整額	△202,411	338,277
法人税等合計	70,625	873,283
少数株主損益調整前四半期純利益	5,136,503	4,007,862
少数株主利益	2,977,327	2,025,001
四半期純利益	2,159,176	1,982,860

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,136,503	4,007,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	290,706	96,879
繰延ヘッジ損益	115,125	48,674
為替換算調整勘定	1,077,372	292,653
持分法適用会社に対する持分相当額	324,051	196,476
その他の包括利益合計	1,807,256	634,683
四半期包括利益	6,943,760	4,642,546
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,033,024	2,308,906
少数株主に係る四半期包括利益	3,910,735	2,333,639

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	外航海運業	ホテル関連事業	不動産賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,972,646	5,195,200	373,800	20,541,647	—	20,541,647
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,972,646	5,195,200	373,800	20,541,647	—	20,541,647
セグメント利益	1,314,966	541,842	194,652	2,051,461	—	2,051,461

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外航海運業」セグメントにおいて、当社の連結子会社が保有する船舶について売却を決定したことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては131,821千円です。

「不動産賃貸業」において、当社の連結子会社が保有する土地について売却を決定したことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては26,315千円です。

(重要な負ののれん発生益)

「ホテル関連事業」セグメントにおいて、早来カントリー倶楽部株式会社の全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、負ののれん発生益を計上しています。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては243,836千円です。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	外航海運業	ホテル関連事業	不動産賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,043,466	7,682,034	354,974	23,080,475	—	23,080,475
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,043,466	7,682,034	354,974	23,080,475	—	23,080,475
セグメント利益	1,252,689	1,047,468	205,719	2,505,877	—	2,505,877

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

「ホテル関連事業」セグメントにおいて、株式会社ザ・ウィンザー・ホテルズインターナショナルの全株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、また、ぎのわん観光開発株式会社の株式を追加取得したことにより、負ののれん発生益を計上しています。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、それぞれ24,784千円、5,627千円です。